

ふりがな 氏 名	はせがわ たかし 長谷川 隆史	職 名	講師
取得学位	博士	学会での受賞歴	・独立行政法人 労働者健康福祉機構 優秀論文賞(平成 24 年 10 月) ・第 51 回リハビリテーション医学会学術集会 コメディカルポスターセッション優秀賞(平成 25 年 6 月)
主な担当科目	理学療法治療学特論Ⅱ(中枢神経障害)、基礎ゼミナール、理学療法評価学実習、見学実習		
所属学会	日本神経理学療法学会、日本物理療法研究会(日本理学療法学会連合)、日本基礎理学療法学会、日本支援工学理学療法学会、日本スポーツ理学療法学会、脊髄損傷理学療法研究会、日本地域理学療法学会、日本予防理学療法学会、日本産業理学療法研究会(日本理学療法学会連合)		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
岐阜県立多治見北高等学校学校行事「名大学びへの道」における模擬講義	2019 年 11 月 12 日	岐阜県立多治見北高等学校にて理学療法分野についての模擬講義を行い、出席した高校生が大学でどのようなことを学び、研究できるのかを知り、将来のキャリア形成について考えるきっかけを作ることに寄与した。
クラウドを用いた学内臨床実習	2020 年 4～ 6 月	臨床実習施設と連携し、個人情報保護を遵守した患者動画と患者情報を大学に提供いただき、セキュリティの高い大学のクラウドを用いて学内臨床実習を実施。
クラウドを用いた臨床実習の情報共有	2022 年 10 ～11 月	各学生が臨床実習で経験した内容をセキュリティの高い大学のクラウド上で共有し、実習以外の時間にも学生が復習することができ、かつ、他の学生が経験した内容も閲覧して学習することができ、学生の学びを深めることに寄与した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	1. 脊髄損傷理学療法マニュアル <ISBN 4830645814>	共	2020 年 2 月	文光堂	編集:岩崎洋 著者:武田正則, 佐々木貴之, 井上美紀, 須堯敦史, 藤縄道 子, 佐藤貴一, 出田良輔, 長谷 川隆史, 他 33 名. 全442ページ中、第2章 理学療 法 4. 理学療法(1) 急性期 (p.84-90)を執筆

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	2.理学療法ガイドライン第2版 〈ISBN 4260046977〉	共	2021 年 10 月	医学書院	監修:公益社団法人 日本理学 療法士協会 編集:一般社団法人 日本理学 療法学会連合 理学療法標準化 検討委員会ガイドライン部会 著者:多数、 <u>長谷川隆史</u> 全 632 ページ中、第 2 章 脊髄 損傷理学療法ガイドライン 重要 用 語、CQ2、CQ4 (p.65-66, 69-71, 74-75)を執筆
	3.脊髄損傷に対するPT・OTアプロ ーチ 〈ISBN 4758320845〉	共	2022 年 9 月	メジカルビュー社	編集:藤縄光留 著者:吉川憲一、 <u>長谷川隆史</u> 、 他 32 名 全313ページ中、第1章 2 脊髄 損傷における特異的な検査測 定(p.10-21)を執筆
	4.神経理学療法学 第 3 版 (標準 理学療法学専門分野) 〈ISBN 4260049895〉	共	2022 年 12 月	医学書院	編集:森岡周, 阿部浩明 著者:信迫悟志、石田和人、 <u>長 谷川隆史</u> 、他 20 名 全 453 ページ中、IV脊髄損傷の 障害と理学療法 第2章 不全損 傷の理学療法(p.412-420)を執 筆
論 文	1.重心動揺リアルタイムフィードバ ック装置(BASYS)による不全脊髄損 傷者の歩行再建	共	2019 年 3 月	独立行政法人労働者健 康福祉機構病院機能向 上研究 業績集, 14 巻	<u>長谷川隆史</u> , 田中宏太佳, 原田 康隆 p. 359-365
	2. Identifying the Effects of Assistive and Resistive Guidance on the Gait of Elderly People Using a Smart Walker	共	2019 年 6 月	IEEE Int Conf Rehabil Robot	Wakako Sato, Yoshiki Tsuchida, Pengcheng Li, <u>Takashi Hasegawa</u> , Yoji Yamada, Yasushi Uchiyama p.198-203
	3. Dyspnea and outcome expectations are associated with physical activity in persons with pneumoconiosis: a cross-sectional study	共	2022 年 9 月	BMC Pulmonary Medicine 22 巻 1 号	Tomohiro Kawaiji, <u>Takashi Hasegawa</u> , Yasushi Uchiyama p335-342
	4. Dynamic Stability During Repetitive Axial Glenohumeral Rotation Using Cine MRI in Healthy Adults	共	2022 年 6 月	Journal of Mechanics in Medicine and Biology	Kazuhisa Matsui, Takashi Tachibana, Katsuya Nobuhara, <u>Takashi Hasegawa</u> , Yasushi Uchiyama DOI: 10.1142/S02195194225 00622

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	1. 脊髄疾患における起立・歩行分析 (教育講演・口述発表)	単	2018年5月	第53回日本理学療法学会学術研修大会(茨城:つくば国際会議場)	長谷川隆史 第53回日本理学療法学会学術研修大会抄録集 p50-52
	2. 変形性関節症者の自然立位時の荷重非対称性と運動・姿勢調節機能との関係 (ポスター発表)	共	2018年5月	第52回日本理学療法学会学術大会(東京:幕張メッセ国際会議場)	臼居直哉, <u>長谷川隆史</u> , 杉山統哉, 内山靖 理学療法学 44 巻 P-MT-50-4
	3. 脊椎脊髄疾患患者の選択的ステップ動作時間と運動機能の関係 (ポスター発表)	共	2018年5月	第52回日本理学療法学会学術大会(東京:幕張メッセ国際会議場)	臼居直哉, <u>長谷川隆史</u> , 杉山統哉, 内山靖 理学療法学 44 巻 P-NV-19-4
	4. 冠動脈疾患患者における薬剤溶出性ステントに対する心臓リハビリの影響についての OCT を用いた検討 (口述発表)	共	2018年7月	第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(神奈川県:パシフィコ横浜)	舟久保浩, <u>長谷川隆史</u> , 他15名(15番目) 心臓リハビリテーション 24 巻 p517
	5. フレイルは心不全の短期予後を予測する: 多施設前向きコホート研究 (FLAGSHIP) (口述発表)	共	2018年7月	第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(神奈川県:パシフィコ横浜)	山田純生, <u>長谷川隆史</u> , 他18名(18番目) 心臓リハビリテーション 24 巻 p14
	6. 重度深部感覚障害の改善はみられなかったが自立歩行を獲得した脊髄性運動失調を呈した不全対麻痺者 (口述発表)	共	2019年3月	第28回愛知県理学療法学会学術大会(愛知:ウインクあいち)	曾我大, 原田康隆, <u>長谷川隆史</u> 愛知県理学療法学会誌 31 巻 p.50
	7. 脊髄空洞症により麻痺が重度化した上肢操作の再学習によって坐位バランスが向上した完全頸損患者	共	2019年3月	第28回愛知県理学療法学会学術大会(愛知:ウインクあいち)	犬飼恵美, 西林公子, <u>長谷川隆史</u> 愛知県理学療法学会誌 31 巻 p.96
	8. 労災病院での研究を考える —どのように考え実行していくか— (特別講演:口述発表)	単	2019年6月	第48回全国労災病院リハビリテーション技師会全国研修会(東京:関東労災病院総合研修センター)	長谷川隆史 第48回全国労災病院リハビリテーション技師会 全国研修会誌 p.9-12
	9. 脊髄障害への歩行練習を再考する (シンポジウム:口述発表)	単	2019年9月	第17回日本神経理学療法学会学術大会(神奈川県:パシフィコ横浜)	長谷川隆史 第17回日本神経理学療法学会学術大会 プログラム集 p.64

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	10. 脊髄損傷者の歩行再建 (シンポジウム:口述発表)	単	2019年11月	中日智能康养研讨会(中国)	長谷川隆史 中日智能康养研讨会 プログラム集 p.30
	11. これからの脊髄損傷リハビリテーション～歩行再獲得に着目して～ (教育講演・口述発表)	単	2020年10月	第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(愛知:名古屋国際会議場)	長谷川隆史 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 プログラム・抄録集 S312
	12. 完全脊髄損傷者における装具歩行トレーニングの効果検証 (口述発表)	共	2020年11月	第18回日本神経理学療法学会学術大会(京都:ロームシアター京都)	松波巧也, <u>長谷川隆史</u> , 杉山統哉, 田中宏太佳 理学療法学 48巻 W-269
	13. 小型加速度計を用いた動作分析における重力加速度成分補正の効果 (口述発表)	共	2021年10月	第26回日本基礎理学療法学術大会(北海道:札幌コンベンションセンター)	西村匡弘, <u>長谷川隆史</u> , 内山靖 第26回日本基礎理学療法学術大会誌 p.101
	14. 脊髄損傷の理学療法 (特別講演:口述発表)	単	2021年11月	福井県理学療法士会坂井・奥越ブロック合同学会(web開催)	長谷川隆史 福井県理学療法士会 坂井・奥越ブロック合同学会誌 p.6
	15. 競技特異的な課題におけるパフォーマンスと構え姿勢との関連 (口述発表)	共	2021年12月	第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会(web開催)	長谷川雅彦, <u>長谷川隆史</u> , 西村匡弘, 内山靖 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会誌 p.85
	16. 脳卒中片麻痺患者における運動麻痺重症度別の歩行の非対称性と運動麻痺および歩行速度の関係 (口述発表)	共	2021年12月	第19回日本神経理学療法学会学術大会(Web開催)	山田将成, 中橋亮平, 細井雄一郎, 牧芳昭, <u>長谷川隆史</u> , 内山靖 第19回日本神経理学療法学会学術大会誌 p.116
	17. 合併症に対するアプローチの現在地 痙縮 (シンポジウム:口述発表)	単	2022年3月	第28回脊髄損傷理学療法研究会(Web開催)	第28回脊髄損傷理学療法研究会抄録集 p.32
その他 (報告書)	不全脊髄損傷者におけるロボット歩行器を用いたトレーニング法の開発	単	2022年6月	科学研究費助成事業研究成果報告書	機関番号:130901 研究種目:研究活動スタート支援 課題番号:19K23602 6ページ